

『人志松本のすべらない話と奇跡の杉ちゃんのすべる話』の関係



皆様、第2第3の不景気の波が襲ってきておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

よく、野球選手がシーズンオフを終えて、開幕試合でヒットを打ったあとの感想に、『もう2度とヒットが打てないような気がしてたので、1本出て安心しました!』なんていうコメントをされておりますが、こんな底なしの不景気が到来すると、もう2度と好景気なんて来ないような気がしてしまいますよね！

そんな時は気分だけでも盛り上げていかなくてはなりません！病気と不景気は気からといわれております。私の気分盛り上げ術は『人志松本のすべらない話』のDVDを、寝る前にベットの中で観る事です。そして単に観ているだけではなく、いったい何が面白くてこのDVDが売れているのか夜な夜な研究しております！

まず、1番の要因は『すべる』という現象をお笑い芸人が最も恐れているがゆえに醸し出される、スタジオの雰囲気、芸人の生のプレッシャーがリアルにTV画面から伝わってくることに在るのではないかと思います。

そして2番目としては、その恐怖の空気をそれぞれの芸人が自分の芸と話術によって自在に操り、乗り越えていく過程をじっくり堪能できるからではないかと思います。扱いづらいサッカーボールを自在にトラップしてゴールを決める中村俊輔と、お笑いファンタジスタのほっしゃんや宮川大輔の見事なオチが同じようにエキサイティングに観えてしまうのは自分だけでしょうか？『すべったらどないしょ!』という恐怖の存在が、一人ひとりの芸人さんの能力をより以上に引き上げ、番組の質を上げているのではないのでしょうか？

さて、すべらない話はこれでおしまいです、次はすべる話を紹介します！

テクアの恒例の『リメンバー3. 17安全大会』ですが、今年は3月14日(土)に開催します。そして今年の講師ですが、あの日本テレビの『誰も知らない 泣ける歌』にも登場した、奇跡の杉ちゃんこと杉浦貴之さんです！！以下に杉浦さんのプロフィールを、御自身が発行されている『メッセンジャー』という雑誌から引用します。

1999年10月1日、僕は28歳にして、腎臓がんを宣告されました。PNET(未分化原始神経外胚葉性腫瘍)というがんが僕の腎臓にできていたそうです。PNETは主に5歳以下の子がかかる場合が多く、大脳にできやすいものなのだそうです。腎臓にできたケースは、当時日本で20例ほどしかなく、2年以内に生きているデータはなかったそうです。当然、両親には余命宣告がされました。

「早くて半年、2年後生きている可能性は100%ない」。短期間に著しく増殖し、分かったときは腎臓を覆うほどの大きさでした。同年10月14日、左の腎臓を摘出。その後、抗がん剤治療を2クール(2ヶ月間)。

しばらく落ち込んでいたものの、両親が僕の葬式で涙を流している夢を見た翌朝、このままでは終われないと、力強く起き上がりました。がんになった原因を探るため、病気を治すため、本気で自分自身と向き合う決意をしたのです。がんの原因を作った“習慣(体、心、生活)”を正す旅。それは決して闘病記でなく、新たな自分に生まれ変わる“再生記”でした。

かなづちの僕は、三途の川も溺れて対岸にたどり着けず、医師からの絶望的な言葉もサプリメントに変えて、ここまでやってきました。5度にわたる腸閉塞も、その痛みや鼻から腸まで通す管は、本物のナースのSMプレイと自分に言い聞かせ、快楽を楽しんできました。あっ、うそです。レントゲン撮影のときに、ピースをして怒られたこともありました。(プリクラじゃないっ!!)。♪レントゲン写真のあのひとは〜♪

いかがでしょうか？すごい内容なのに、なんとなくかなりすべっていると思いませんか？(笑)

でも、だからこそテクアの安全大会に是非講師として呼び出したいのです。彼には死の淵から這い上がった男の持つ、絶対的な安心感、『何が起ころうとも大丈夫だよ感』が漂っているのです。

長く苦しい闘病生活、癌と戦い続けて力が萎えそうになった時に、心の中にターニングポイントが突然やってきた。

『癌と戦うのではない。癌は今までの無理をしてきた人生を自分に知らせてくれているメッセージだ。与えられた人生を喜びに満ちて生きていこう!』そう心に決め、世界中を旅し、詩を書き歌を歌い、恋愛をし、各地でエロの花を咲かせ(笑)、ホノルルマラソンにも出場しました。

世間は言います。

『マラソン出場？よくぞそこまで元気におなりになりましたね!』と。しかし奇跡の杉ちゃんと言います。

『いいえ、色々な事お喜び秘め(姫)事に一步一步踏み出して挑戦していたら、元気になっちゃいました!!』と。

苦難を乗り越えた、爽やかな青年でアピールすれば、もっと世間様に受けて、TV出演や取材も増えると思うのですが(笑)、自分の中にいるもう1人の物言わぬ自分に出会ってしまったのでしょうか。言葉で飾って自分を売れる商品にしようなどとはこれっぽっちも思っていない、気さくさと正直さと底なしの優しさで、すべる話とエロい話を連発する『シンガーソングエロランナー(自称)』として全国を飛び回っています！

日本では癌は交通事故死の50倍の死因なのだそうです。杉浦さんはとても幸運だったのかもしれませんが。しかしながら、苦難をターニングポイントとして捕らえ、自らがメッセンジャーとなり、人々を勇気付ける側に回るような発想の逆転はなかなか常人では出来るものではないと思います。

我々も事故、災害が発生したときは、日々の作業の中にその原因を探り、災害が発生しているメッセージを真摯に受け取り、改善を重ね、失った信頼を回復させ、以前よりもさらに厚いものにしなければなりません。

『リメンバー3. 17』はまさに我々にとってのターニングポイントでした。我々もメッセンジャーとして災害の経験を生かし、『机上ではない、現場に即したリアルな安全』と『雨降って地固まる、何があっても大丈夫だよ!』というメッセージを語り継いで行きたいと思えます。

感謝！羽原篤史



PS. 実は杉浦さんは昨年12月、ホノルルマラソンでゴールインしたまま、彼女を抱きかかえ、翌日めでたく結婚式を挙げられました！！パチパチパチ！！まさに人生のランニングホームラン！！って感じです。

我々もこの幸せ感にあやかっ、不景気を吹き飛ばす心のタイムリーヒットを一本打っておきたいですね！